

夏休みのきまり

年 月 日 ()

日本は、犯罪が少なく、安全な国だと言われています。その理由のひとつは、学校でさまざまな社会的ルールを教えたり、安全教育を行っているからです。そして、学校だけではなく、保護者、地域の人たちが協力しているからです。しかし、残念ながら、最近、日本では、犯罪が急増しています。日本の学校のいろいろなきまりは、子供達が犯罪にまきこまれず、安全に生活するためのものです。そのためには、保護者の協力は欠かせません。親子でよく読み、よく理解してください。

40日間の夏休みは、思春期を迎える子供達にとって、とても貴重な時間です。大きく成長できるチャンスでもあり、逆に、大きく乱れるきっかけともなります。まっすぐに成長するために、有意義な夏休みを過ごせるよう、保護者の皆様には普段以上の支援をよろしくおねがいします。

▼夏休みの生活で各家庭で守ってほしいこと▼

1 家族のコミュニケーションを欠かさない。

会話の中から、子供の気持ちをとらえることができます。子供とのコミュニケーションは親の義務です。思春期の難しい時期だからこそ、コミュニケーションを大切にしましょう。

2 生活のリズムを崩さない。

夏休みは、とにかく生活のリズムを崩さないことが大切です。起床時間・食事時間・就寝時間など、家族全員が日常的に守っている生活のリズムは、夏休み中でも守りましょう。

3 外出のルールを守る。

外出時は、行き先・用件・帰宅時間・同行者などを確認して下さい。また、夜遊びは絶対にさせないください。

4 友人宅での外泊はさせない。

軽い気持ちの外泊が、大きな問題や犯罪につながることもあります。

5 家族で相談し、家事労働を分担する。

夏休みは、家族の一員であることを実感させ、協力して生活することを学ばせるよい機会です。

最近の傾向

最近では、インターネットや携帯電話の普及により、親の見えないところでの子供同士のつながり，あるいは子供と大人とのつながりが簡単にできてしまいます。インターネットがきっかけの少年犯罪や被害が多数起きています。夏休みには、子供達の気持ちも開放的になり行動範囲が広がります。新しいつながりが出来やすい時期です。家族のコミュニケーションを密にすることで、子供のささいな変化も見逃さないようおねがいます。

守ること

1. 外出時は、行き先、用件、帰宅時間をかならず家の人に話す。
2. 外出時は、中学生らしい服装で出かけること。
3. 生徒同士で出入り禁止の場所（保護者なしで行ってはいけない）
ゲームセンター・コーナー、カラオケボックス、無人食堂、ビリヤード場
インターネット漫画喫茶（パチンコ店は保護者と一緒でも入場禁止。）
4. 交通安全につとめる。
自転車に乗る時はルールを守り、無灯火、並列走行、2人乗りなどしない。
5. 友人宅での外泊は絶対にしない
6. 爆竹など火遊び、夜間の釣り、モデルガン、エアガン、ボーガンなど危険な遊びはしない。
7. インターネット・携帯電話を使って出会い系サイトにアクセスするなどの、不健全な遊びはしない。
8. すいか祭りに出かけるときは、午後9時までに帰宅すること。
9. バイク、万引、飲酒、喫煙等の法律に触れることは絶対にしてはならない。
10. 海水浴や登山は、必ず保護者同伴で出かけること。